

5歳児の様子

2024年 4月18日 (木) 曇り

～山崎高校への訪問～



子どもたちにとって初めての山崎高校に訪問しました。今日の活動は2つあり、1つは畑の土づくり、もう1つは校内ツアーでした。土づくりでは根っこの絡みをほどくように揺さぶり、ふわふわな柔らかい土を作りました。

今後はこの畑に野菜を育てていくとのことです。



一方で校内ツアーでは制服を着た高校生に緊張をしながらも手を繋いで歩きました。教室の椅子、机の大きさに驚き、幼稚園との比較をする姿が見られました。体育館や図書室まで案内してもらい、新鮮な環境に刺激を受けながら交流を楽しみました。



田んぼを守ろう

毎日田んぼの観察をし、生長を喜び子どもたち。その中で・・・
 「いね、とりさんにたべられちゃうかも・・・」
 心配なことも出てきます。
 「ばりあをはっておこうよ!」
 サークルタイムで考え、網を張ることに。
 「まわりをぐるっとしよう!」
 しかし、みんなで支えていないと縮まってしまう。
 「テントみたいにぼうをたてたら?」
 友だちの案に「いいね!」と賛成!
 大塚先生にも相談に行き、木材をもらいました。
 「できた!」「これでたべられないね!」
 子ども同士で考えながら、大切にしようと行動しています。
 丁寧に関わっていきながら、生長を支えています!



色水

色水を凍らせる“色水”を作ってみます!

「なにいろにしようね!」
 話し合い、一人一つ、色の組み合わせを考えます。
 「わたしはあおときいろ!」
 「ぜんぶちがうくみあわせにしたらおもしろそう!」
 できた色水を冷凍庫へ・・・
 「いつになったらこおるかなあ」昼に観察してみると
 「うへのほうがこおってる!」「したはまだみずだね」
 「うえからこおるってこと!?!」
 サークルタイムでも観察しましたが、
 「いっしょにいれてたみずがはいっちゃった!」
 「まだまだだ・・・」「またあしただね!たのしみ!」
 観察する中で、どのように凍っていくのかの経過にも
 気付いていた子どもたち。
 また、凍るには時間がかかることも学んだようです。
 引き続き、明日もどうなっているのか、
 活動を続けていきます!

クラフト工房LaMano

クラフト工房LaMano に見学に行きました。

「染物とか織機があるんだよね?」「どんなところなんだろう...」「楽しみ!」期待を膨らませる子どもたち。

染物の体験をさせていただきます。
瓶に入った染物の素材に興味津々な子どもたち。
「どんなにおいするかかいてみたい!」
「これは何色に染まるのかな?」
「どんぐりの殻で染物できるの!？」



説明を聞いた後には実際に藍の葉で染物をします。

「ちょっとくさい...」
「緑色から青色になった!」
「いや色の变化に気づきます。」



藍の葉を育てている畑も見せてもらいました。

「葉っぱに青色の点々がある!」



織機や縫物の様子も見学させていただきます。

「幼稚園の機織機と違うのもある!」
「また機織とか縫物したい!」
園の機織機との違いに気づいたり、
近くでじっくりと観察したりします。

綿から綿花の種を取り出します。
ゆっくりとレバーを回します。

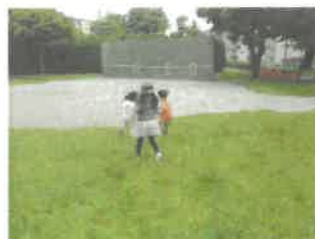


園庭の植物を使って染物を行ったり、
縫物や機織機を活用したりと
興味・関心を広げていきます。

お散歩に行こう!



「バッタいた!」
「たくさんいるね!」



公園にお散歩に行った子どもたち。
「バッタがたくさん!」
虫探しをしたり、植物を観察したりしています。
休憩がてらヤマモモを食べます。
「またお散歩きたいな~」
「また虫探ししにいきたい!」今後も園外に出向き、自然や生き物を探索していきます。



「機織機の糸はり」

LaManoの方が機織機の糸をはりに来てくれます。

「糸はってるところみたい!」

「どうやってはるのかな?」

興味津々な様子で近くでみています。

「カラフルな色!」「きれい!」糸の色に興味を持ったり、実際にはられた糸を触らせてもらい、「糸がピンってしてる!」感触に気づいたりします。



糸をまくお手伝いもさせてもらい、熱中して行う姿が見られました。「もっとやりたい!」「私もやってみたい!」集中して丁寧に行います。

「はやく機織機使いたい!」「どうやってやるんだっけ?」「私が教えてあげる!」

機織機を使用することを心待ちにしています。



Tシャツヤーンを作っている子どもたち。
着なくなったTシャツを再利用してヤーンにします。

「これで織物してみたい!」
自分たちで作ったヤーンで織物をするのを心待ちにしています。

「土粘土を使って」

うさぎぐみの友だちと土粘土を使って遊びます。

「ここの土使おうよ!」

「もう少し水足す?」

友だちと相談しながら粘土を作ります。

作った粘土を使って泥団子を作ったり、動物の形を作ったりします。

「ぷにぷににして気持ちいい!」

「もう少し水が必要かも…」

感触を味わいながら遊んでいます。

引き続き土に触れ、遊びを広げていきます。



5歳児の様子

2024年 4月16日 (火) 晴れ

山崎高校の学生と一緒に



山崎高校の学生と交流をします。
「お兄さんお姉さんに園庭案内する！」
「一緒に虫探しをしたい！」
積極的に声を掛け、一緒に遊ぶ子どもたち。



「ここに虫がたくさんいるんだよ！」
「お花集めようよ！」
一緒に虫探しをしたり、園庭の自然物を集めたりしています。

しいたけの菌つけをしたり、もぐもぐファームを耕したり
することも一緒に行います。
スコップやトンカチを使って協力しながら行いました。



18日に山崎高校に行くことを心待ちにしている
子どもたち。

引き続き、山崎高校との交流を通して
土や植物に触れる機会を大切にしていきます。



4歳児の様子

2024年9月26日(木) 晴れ

たたき染め

以前は藍の葉を煮てみましたが、あまり色が出ませんでした。

そこで今回、子どもたちは違うことに挑戦してみることに。

「たたきぞめしたい!」

葉っぱを布に敷いて叩いていくと

「あ、いろがでてきた!」

少しずつ出てくる色を楽しみました。

しばらくすると、

「んなふうにおいて、たたいてまたはっぱおくばしょかえたら
いろんなかたちができるんじゃない?」

と自分で形を変えられることを発見した子どもたち。

葉っぱのかたちだけでなく、様々な形に挑戦して楽しみながら遊びを深める子どもたちでした。

また、藍だけでなくその葉っぱも大きくなっていることに

気付いた子どもたちは

「つぎはしそでたたきぞめしよう」

と話している姿がありました。



ルーマニアの料理

4歳児の保護者の方が園に来てくれ、母国の料理をクッキングしてみよう!という事でルーマニアのお料理を教えてくださいました!

「なにをつくるの?」

子どもたちは興味津々です。

ナスと玉ねぎを使ったもので「サラダ・デ・ウ”イネテ」(ナスのペースト)という(正確には料理名というわけではないそうです)料理です。

一緒に焼いてみたり切っているのを観察しながら「なにかてつたうことない?」と完成を待っています。

そして遂に完成しました!

「なすじゃないみたい!おいしい!」

と食べてみた子どもたちは次々に驚いた様子で海外の料理を味わっていました。



火がキラキラしてる

たき火をしています。

「あついからちかづいちゃだめなんだよ」

「すわってみたいからいすをよういしよう」

たき火をしているのを見つけた子どもたちは座って観察するために椅子を探したり、周りのお友だちに火に関する注意喚起を、呼びかけている様子があります。

火が大きくなってくと

「あったかーい!」「火がきらきらしてる」

たき火をすることで、秋の季節を感じた子どもたち。

今後も、季節の移り変わりに触れる様子や、秋という季節に親しみを持てるような環境を整えていきます。



マラウイの子どもたちと



午後から子どもたちは、マラウイと繋がりました。

「日本はお昼だけど、マラウイは朝なの?」

「どうして!世界って不思議!」

子どもたちがマラウイと繋がった時、

マラウイではまだ朝の7時でした。

たくさん子どもたちが、学校に登校している

様子を見て、手を振ったり、挨拶をしたり、

お互いの国でしっかりと繋がりを意識していました。



元気に育ちますように



かぶとむしの幼虫が、しっかりと栄養を食べて、土で眠れるように、土を交換する作業を行いました。

「幼虫さん、大きくなってね!」

「すごい!自分で穴掘って潜ろうとしてる!」

幼虫の生命力の力強さを感じています。

「はやくかぶとむしになれるといいね。」

来年の夏も、かぶとむしの元気な姿が見られることを、

首を長くして待っている子どもたちです。



オーストラリアと繋がろう

オーストラリアに住むお友達のご親戚と繋がり、街並みを見せていただきました！
「やしのきがある!」「せいわにもあるよ!」
「うみもあるね」「おおきいふね!」「のってみたい!」
「ロマンスカーやしんかんせんはあるの?」
「ないよ!車や船を使っているよ」「ええー!そうなの!」
実際の風景から気付くこと、そこから出る疑問がたくさん!



「フィンガーライム」という面白い形の果物がオーストラリアで有名であることを知り、合わせて触れてみることに。
「ほそながいね」「ちいさなみがたくさんでてきた!」
切ると触れていないのによいよと出てくる実にびっくり!
食べてみると「すっぱい!」「ぷちってする!」
不思議や果物にも触れることができました。
乗り物、風景、食べ物、、、興味が広がっています。

黄色のもみじ染め

昨日赤いもみじで染めてみると「ピンクになった!」と発見がありました。
「きいろのもみじだとどうなるかな?」
疑問を持った子どもたちと挑戦!
「あれ?ちょっといろがかわってきた...?」
「ちやいろ?きいろ?っぽいね」「そまった!」
「ぬのでもやってみよう」「じゅうそうとみょうばんでかわるかな?」
「じゅうそうがいちばんこくなつた!」
発見がたくさん!葉の色で染まる色も変わりました!
「つぎはみどりのもみじだね!」
「でもいろがかわってきはじめてるね...」
「いちょうもやりたいよね!」
今後も興味や疑問に向き合っていきます!



ようちえんに田んぼを①

幼保連携型認定こども園
正和幼稚園



幼稚園に田んぼを作ってみよう。子どもたちも遊びの中で土を掘ったり、材料を運んだり、着々と田んぼの土台が出来上がっていきます。そして稲を植える為の土づくりを行います。赤土に肥料、実際に田んぼで使っている泥を少々入れ、子どもたちの足で踏み、かき混ぜながら土を作りました。ひんやりとした泥の感触を味わいながら田んぼと関わっています。

ようちえんに田んぼを②

幼保連携型認定こども園
正和幼稚園



大きく育つよう期待を込めて田植え開始。
稲が立つように深く植えていきます。
初めは泥の中で動きづらさを感じる子ども
いましたが、途中からは慣れ、農家さながらの
表情で植えました。



5歳児が行っている田んぼ活動にて
お世話になっている農家の方にも
来てもらい、お話を伺います。



泥を感じながら

ようちえんに田んぼを③

幼保連携型認定こども園
正和幼稚園



稲の生長と共に子どもたちにとって田んぼが幼稚園の風景になっていき、園庭に出た際には見に行っ観察をしたり、稲を触ってみたりしています。稲穂の柔らかい部分と固い部分の違いに気づく姿が見られました。そして稲刈りに期待を寄せています。



ようちえんに田んぼを④

幼保連携型認定こども園
正和幼稚園



稲穂が黄色く色づいてきたころ、子どもたちの稲刈りに対する期待感も高まり、「もうとれる?」との声も上がっていました。そこで保護者の方を案内、子どもと一緒に稲刈りを行いました。刈り取った稲についている稲穂を見て、保護者とともに収穫を喜びました。

ようちえんに田んぼを⑤

幼保連携型認定こども園
正和幼稚園



2週間ほど稲を乾燥させたところでいざ脱穀へ。使うのは職員の手作りの千歯扱きと牛乳パック。稲から穂がプチプチと取れていき、集まってくると実際に食すことへの期待感が高まっていました。最後には稲に穂がまだ残っていないか、シートに落ちているものはないか確認し、穂の一粒一粒まで大切にしようという気持ちを感じられました。

ようちえんに田んぼを⑥

幼保連携型認定こども園
正和幼稚園



脱穀した米の粳摺りを行いました。使用するのはすり鉢と野球ボール。脱穀した米をすり鉢に入れ、野球ボールですっていききます。少しずつもみ殻が外れていき、中から見慣れた米が出てくると、「おこめだ!これで食べられる」と食することへの喜びが表れていました。ある程度集まったコメを顕微鏡カメラで観察し、形や大きさの違い、もみ殻の細かな繊維を発見していました。田植えから始まった米栽培、ついに食べられる形に近づきました。